

第42回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

1 日 時 平成31年4月8日(月) 18:00~19:20

2 場 所 岡山大学医学部 管理棟3階 大会議室

3 出席者 62名

4 報告事項

(1) 岡山県

○以下報告があった。

- ・がん診療連携推進病院に係る指定要件について、現在見直し作業を行っている。今後、早めに要綱を定め、該当施設へ示す予定である。更新の申請については別途連絡する。
- ・がん教育に係る外部講師の派遣について、今年度も引き続き実施予定であるため協力いただきたい。近日中に外部講師リストの更新依頼をする予定である。
- ・緩和ケア研修会を12月15日(日)、緩和ケアフォローアップ研修会を2月11日(火)に医師会主催で実施予定である。

○岡山大学病院から、がん教育について、昨年度の派遣先の学校、講師、講演内容をリストにして提供いただけるか確認があった。

→岡山県から、教育長が取りまとめている情報から、伝えられる情報を整理して伝えると回答があった。

(2) 事務局・岡山大学病院

○2019年度各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があり、今後も研修会・講演会の情報があれば事務局へ情報提供いただきたいとの依頼があった。

○岡山県がん診療連携協議会HP閲覧統計(H30年度)について報告があった。

- ・閲覧数が多い頁は「セミナー・講習会(医療関係)」「患者会・がんサロン」「セミナー・講習会(一般向け)」「セカンドオピニオン」である。

岡山大学病院から、「がん医療に関するリンク集」を充実させていきたい。リンクを貼らせていただけの情報があれば提供いただきたいと依頼があった。

(3) 作業部会等

① 地域連携パス部会

○平成30年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績(H30.4~H31.3集計分)について報告があった。

- ・平成30年度総数は183件で、平成29年度総数276件より93件減少した。

○岡山大学病院から、件数減少の原因について確認があった。

→倉敷中央病院から、胃癌・大腸癌の減少については担当者が変更となったことが原因と考えられる。現在マニュアル等を整備しており、今後増加する見込みであると回答があった。

→岡山済生会総合病院から、メリットを感じにくく、無理をして実績を上げるのを控えたためではないかと回答があった。

② がん相談支援部会

○2月4日に開催された第38回がん相談支援実務者会議について報告があった。

- ・広報活動について、今年度はがん相談支援センターの認知が低い地域のまつり等に参加予定。9月のがん征圧月間には一斉パネル展示を実施する。図書館との連携展示も検討している。愛育委員等へ広報活動を行う。
- ・がん相談員研修会について、第3回を3月9日に実施。
- ・ピアサポーター研修について、第2回を3月16日に実施。
- ・PDCAサイクルの総括及び課題の報告を行った。

- ・PDCA サイクルについての意見交換を行った。評価項目を見直し、新しいPDCA 評価表を今月末に配布予定。

引き続き報告があった。

- ・2019 年度 桃太郎がんメディカルカフェ（6/4、9/6、12/5、3/4）

○岡山大学病院から、新たに就労支援を開始した岡山済生会総合病院、岡山医療センターに状況確認があった。

→両施設とも、開始したばかりでまだ分からないとの回答があった。

○岡山医療センターから、雇われたがん患者さんをずっと雇用していくかどうかは企業側の問題ではないか、企業側に対する行政指導はないのかと質問があった。

→様々な形でサポートはできる。詳細はガイドラインを参照いただきたいと回答があった。

○このことについて、岡山産業保健総合支援センターから以下発言があった。

雇用は会社の判断や就業規則によるものであり、こちらから働きかけるのが難しいこともあるが、企業の中で整備ができそうな制度についての相談や、患者さんと一緒に出向いて会社に合わせた就労相談をすることは可能である。就労の継続を希望する相談があれば紹介いただきたい。

③ 緩和ケア部会

○2月25日に開催された第22回緩和ケア実務者会議について報告があった。

- ・緩和ケア研修会について、岡山県から新方針（案）が提示された。がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院は年1回開催することとする。地域がん診療病院は拠点病院との合同開催も可能とする。
- ・PDCA サイクルとして、緩和ケアチーム登録と現況報告を用いた自己評価を行った。
- ・今年度の緩和ケア研修会の日程をHPに掲載予定。

○岡山大学病院から、緩和ケア研修会について、研修医の受講率の確認があった。

→拠点病院以外の研修医の受講状況については把握できていない。拠点病院での研修の際に受講を促進していくと回答があった。

④ がん看護部会

○1月25日に開催された第51回がん看護部会について報告があった。

- ・岡山県がん看護セミナー2018の評価を行った。
今年度以降は同プログラムの研修を各拠点病院で実施する。
- ・今後の活動として、出張セミナーを企画していく。また、看護部会メンバーのブラッシュアップのための講演会の開催、情報交換・意見交換の場も設けていく。

○岡山大学病院から、セミナー実施後の現場の変容等、評価は行っているかと確認があった。

→現段階で示せるものはない。今後評価していく必要があると回答があった。

⑤ 研修教育部会

○3月4日に開催された第16回研修教育部会について報告があった。

- ・今年度も昨年度と同様のテーマでがん化学療法チーム研修を開催する。多職種チームでの参加とする。昨年度の参加施設には実績を報告いただく。
- ・学校におけるがん教育について、昨年度は12月時点で10件の実績があった。国が作成したがん教育のフォーマットについて情報収集し、岡山県共通の雛形を作成することを検討している。

⑥ がん登録部会

○3月19日に開催された第12回がん登録部会について報告があった。

- ・国がんが実施する「院内がん登録予後調査支援事業」に係る、岡山県から岡山市への住民票照会について、今年度は昨年度より1000件程度増加したため、照会件数を7割程度に絞ることになった。

- ・岡山県院内がん登録報告書（2016年版）のHPへの掲載に向け、データの摺り合わせを行った。
- ・UICC第7版の2012-2017年症例の経年データをHPに掲載予定である。
昨今の膵臓がんの増加に伴い、これまでの5大がん、子宮がん、前立腺がんに加え、膵臓がん、食道がん、悪性リンパ腫の集計を行う。
過去に収集したデータは様々な形式で提出されているため、形式を揃えてデータを集め直し、集計する。
また、生年月日は年齢計算のために必要であり、加えて郵便番号、都道府県コードも公開していただきたい。
- ・岡山県院内がん登録報告書（2017年版）冊子について、スケジューリング等を相談した。

⑦ がん薬剤師部会

- 2月22日に開催された平成30年度第2回がん薬剤師専門部会について報告があった。
 - ・第1回研修会の報告があった。
 - ・第2回研修会を6月29日に高梁地区で開催予定。ガイドライン等の改定に伴い、スライドの修正を行っていく。
 - ・第3回研修会を金川地区で開催予定。

⑧ 歯科部会

- 以下報告があった。
 - ・本部会は医科歯科連携を目的に発足したが、歯科の規模は各施設で異なり、組織化が難しい。現在、岡山県歯科医師会と部会の整備について話をしている。そこで、本協議会に代表者一人参加させていただけると、開業歯科医院を含めて連携医療が進むのではないかと考えている。
 - ・国がんと日本歯科医師会との間で、教育用テキストの改訂版を作成中である。
- 協議会への代表者の参加について、問題ないとのことでした。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院 特になし

(5) その他

- 岡山大学病院から、岡山大学病院 腫瘍センター作成の「岡山県がん化学療法かかりつけ医マップ」について説明があり、各施設に配布された。協議会として共通のマップを作成する場合は、協力いただきたいと依頼があった。
- 岡山大学病院から、協議会に新設されるPDCA評価部会には、各作業部会の部会長と各施設長もしくはその代理となる方に参加いただきたい。今年度中には始動する予定であるため、ご協力いただきたいと依頼があった。

5 協議事項

- ・「生年月日、郵便番号情報、診断時都道府県コードなど
がん登録法で規定された項目の収集について」
- 岡山大学病院から、以下説明があった。
がん登録部会で、2012-2017年症例の集計を行うこととなったが、過去に各施設から提出されたデータに、生年月日等が含まれていないデータがある。生年月日は経年変化を見る際の計算に必要であり、年齢だけでは判定が困難である。また、郵便番号情報はがんを発症したときの居住地が分かり、地域毎の状況を知るために必要である。この項目はがん登録法で規定されており、個人情報保護の面からは外れる。
以上により、生年月日と郵便番号情報を含めて改めてデータを提供いただきたい。
→このことについて、この場では了承を得られたが、各施設に持ち帰り、情報提供に問題がある場合は4月中に事務局まで連絡することとなった。
なお、データ形式に関しては今後検討し、データの収集は岡山大学病院が窓口となり行う。

6 その他

○岡山大学病院から、「わたしが望む医療・ケア」の冊子作成の報告があり、各施設に配布された。活用いただき、意見をいただきたいと依頼があった。

○岡山大学病院から、以下案内があった。

緩和医療研究会 第65回研究集会

日時：5月25日（土）14時～15時半

内容：第1部「ACPはだれのため？」岡山大学病院 緩和ケア認定看護師 高下典子

第2部「変化する現代日本人の死生観」東北大学総長特命教授・名誉教授 鈴木岩弓

○患者会から、岡山県がんサポートガイドについて、患者会に配布されているか確認があった。

→岡山県から、早急に配布すると回答があった。

引き続き、患者団体から岡山市議会に出していた「受動喫煙の防止と政策について」という陳情が全会一致で採択されたと報告があった。

○岡山大学病院から、子宮頸がんのワクチンについて、今後岡山県としてどうしていくのか説明依頼があった。

→岡山県から、第3次岡山県がん対策推進計画にAYA世代の項目が追加され、ニーズが高まっていると思われる。改めて整備をし、報告すると回答があった。

7 次回開催日

・7～8月頃開催予定、日程は調整が付き次第、連絡。